



— 当院の理念 — 安全・安心・信頼の医療

暖かい日が増え、あちらこちらで桜の開花情報が聞かれ、ここ箕面でも春らしい気候がつづいています。

本日は当院看護部の活動について少しお話ししたいと思います。

ご存知のように、団塊の世代がすべて後期高齢者となった今、日本は高齢化の一途をたどっています。

いわゆる健康寿命を超えると、その後は病と共存しながら生活しなければなりません。

当院はそのような急性期治療を終えられた患者様が入院する、療養型の病院です。

療養型病床の特徴として、身体的な看護だけではなく、精神的な看護、特に認知症についてが重要なポイントとなっております。

## 看護部の活動紹介



特に私たちが力を入れているのは、身体拘束ゼロを目指し、認知症患者様に対して行うケアを、皆さんの個別性に応じて実施する事です。当院には、認知症看護対策委員会や、身体拘束最小化チームがあり、認知症に関する専門的な研修を受講した看護師が、それぞれ患者様に合った見守り方を、チーム全員で共有し、実施しています。

また、看護部職員全体の対応力向上のために、他施設より認知症認定看護師を招き、定期的な全体研修も行っています。認知症の患者様の入院に際しては、転倒転落のリスクはもとより、治療のための各種ルートに対して、誤って抜去してしまう危険性など、直接命に関わる事象が考えられます。転落防止やルート抜去予防に対して、従来、拘束具が装着されることが第一選択でしたが、私たちは患

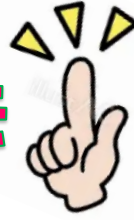
者様が少しでも不快に感じないよう、残存機能を損なわないよう、それぞれに工夫した転落予防、抜去防止方法を検討しております。患者様個々の特性を踏まえた用具を工夫し、試作を繰り返しその方に合ったものを手作りで作成しております。今後も、皆様が安心して入院できるよう、優しく丁寧な医療・看護の提供を心掛け、環境を整えるよう努力していきたいと思っております。

箕面中央病院

〒562-0001 大阪府箕面市箕面 6 丁目 4 番 39 号

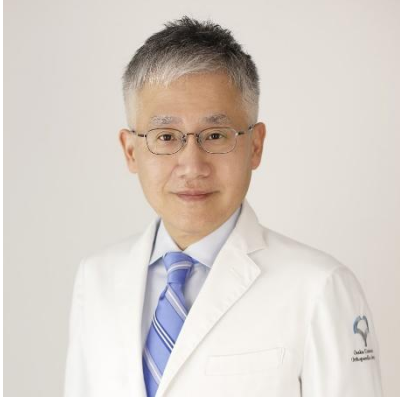
TEL 072-721-3294

# 菅本一臣先生の健康メモ



当院整形外科外来のかかり方と

整形外科疾患関連ユーチューブのご紹介



月曜日火曜日の外来診察を担当している菅本一臣と申します。

4年前まで阪大病院整形外科教授として16年間勤務していましたが定年退職を機に当病院で非常勤勤務することになりました。阪大病院在職中には300名以上の多くの後輩医師の指導に当たっていましたが、それらの方が現在は多くの病院の一流整形外科医として活躍しているのを大変誇りに思っています。

最近によく病診連携という言葉が使われるようになってきました。大病院と中小病院または診療所がうまく連携することで効率よく最善の医療が提供されることを国は目指していますが、その際に案外重要なことは互いの病院を担当する医師同士が懇意であるかどうかなので

です。その意味では数多くの医師たちと同じ釜の飯を食ったもの同士という関係ができているという意味で、特に手術が必要な患者様のお役に立てるのではないかと考えています。一方で当病院での整形外科治療は手術以外の治療が中心となりますが、実は医療を受けるに当たって最も重要なことは「何の病気なのか?」「どんな治療が必要なのか?」を正確に判断することがまずキモになります。その点に関しては長年の医療経験などもあり自信を持ってお答えすることができるのではないかと考えています。

日本の高齢化はものすごいスピードで進んでいます。患者数は年に6%の増加率のようです(銀行預金がそうあってほしいものですね)です。ですので中高年になって体のどこにも痛みがない方はほぼおられないのではないのでしょうか?もし困っておられる方がいらっしゃれば迷わずまずは**正確な診断、正しい治療方針のご相談**を当院でお受けになれることをお勧めします。当院には私以外にも阪大病院から他の曜日の外来診察の応援に来てくれています。皆それぞれの専門性を持った実力のある整形外科医ですので是非気軽にご相談ください。

ところで皆さんはユーチューブをご存知ですか? スマホやパソコンでさまざまな番組を見ることができます。私も「菅本一臣チャンネル」を作っていますがこれまでに200万回程度皆様にご覧いただいています。整形外科のさまざまな病気について解説していますので是非ご覧ください。

その中で最もみていただいたものが「**腰部脊柱管狭窄症の手術以外の治療方法**」です。加齢が原因で腰の骨が変形し、それがもとで腰椎にある神経が圧迫されることで両下肢のシビレや痛みが出るもので数百万人の方々を悩ませています。これは重症になると手術が必要になりますが、それには至らない場合にはさまざまな薬や注射さらにはリハビリなどが効果的です。ただしその**組み合わせ、やり方こそが医師の腕の見せ所**ということになるのでしょうか?薬はどこでも同じものが手に入りますがどの様に使っていかは医師によって大きくやり方は異なります。

当院では最適な治療を提供できると思っていますので、骨関節の痛みなどにお悩みの方々にはぜひご来院ください。私たちは地域にお住まいの方々の健康を守りながら皆さんが幸福に生活できるようにお手伝いをさせていただきたいと思っています。

整形外科医 菅本一臣